

くまもと健康友の会  
お知らせ  
コーナー

総会のご案内

日時/6月18日(土)  
14時~15時半  
会場/友の会事務所+オンライン  
ZOOM/ミーティングID:816 3413 1958  
パスコード:149014  
※事前申込みが必要です。

第39回くまもと健康まつり

(食料物資配布会&健康チェック・生活相談)  
日時/5月8日(日)  
13時半~15時半  
会場/九州学院・メモリアルチャペル  
※今回の内容は食料配布会です。別紙チラシをご参照ください。

読者のコーナー

健康友の会でリデル、ライト両女史記念館を訪ねて

出水在住 畠田ミツ子

満開の桜の中の立田山散策で「リデル、ライト記念館」も訪ね、改めて彼女達の生涯や回春病院の設立・運営への献身的な苦勞に感謝し、思いを巡らしました。

ハンナ・リデルは明治24年(1891年)、35歳で英国国教会の宣教師として熊本に派遣され、当時、「不治の病」と恐れられていたハンセン病患者達を見て、回春病院を設立し、その生涯を捧げます。

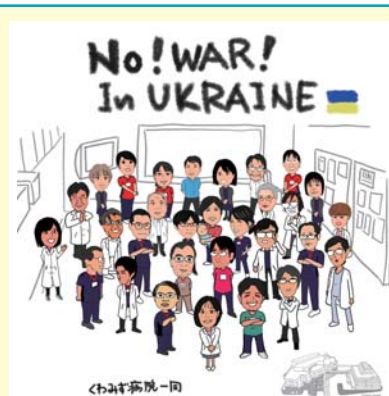
当初は教会も本来は布教が目的なので、彼女の運動に対して「無謀だ」と協力的ではない中、同じ船で来熊した宣教師グレイス・ノットや後にリデルに請われて来日した姪のエダ・ハンナ・ライトと共に回春病院の運営がなされたのです。

しかし、1940年(昭和15年)リデルが敵国イギリスの出身であった為、スパイ容疑で拘留され、翌年、傷心のまま、オーストラリアへ旅立ち、事実上の国外追放であったことは大変残念なことでした。(後に再度、来日)

猪飼隆明先生の著書「ハンナ・リデルと回春病院」(熊本出版文化会館)が大変詳しいので、お薦めです。皆さんも、是非、行って見られませんか。



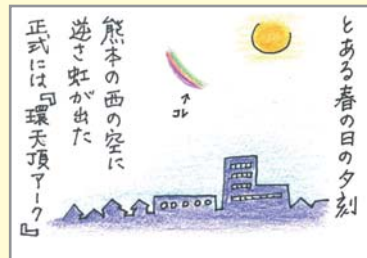
記念館見学  
リデル、ライト両女史記念館職員より説明を受ける



くまもと健康友の会

作:長谷川博 画:浦本一代

ウクライナに平和を



作:長谷川博 画:浦本一代

編集後記

春になった。嬉しいはずの季節にづらいニュースが届く。遠いウクライナからの悲しい知らせだ。大国が小国を侵攻した。今まさに弱肉強食の実態を世界に見せつけている。国際連合は、1919年に設立された国際連盟が第二次世界大戦を防げなかった反省の基に設立された。ロシアはその常任理事国。頼りになるはずのこの国連が無力で戦争を止めることが出来なかった。ロシアは時には核兵器をチラつかせ周辺国を脅している。その残酷さに世界の人々は歯ぎしりするばかり。400万人を越す海外避難。国内ではキエウ北部の村での残虐行為を残してロシア軍は引き上げた。南東部のマリウポリでは市民5000名以上が亡くなったと伝わる。当国は虐殺をフェイクとして真剣に取り合わない。強いものが弱者を虐めて殺すこと、泣き寝入りは許さない。熊本でも戦争反対の声が広がっている。この友の会だよりが届く頃には戦争が終わり、平和が戻り国の再建が始まっていることに期待したい。(H)



医療や介護でお困りのことがあれば友の会までご相談ください。  
096-383-8707



くまもと健康友の会だより

2022年5月号

http://tomonokai.sub.jp/

発行 2022年5月1日 くまもと健康友の会 会長 上野美恵子

〒862-0954 熊本市中央区神水1-21-16 e-mail:kumatomo2003@yahoo.co.jp TEL096-383-8707 FAX096-383-1633



阿蘇山の真夏の空に遊びけり 長谷川博

阿蘇のミヤマキリシマ 撮影/稲益親義氏

「コロナ禍での取り組み紹介」



特別養護老人ホーム  
たくまの里  
施設長

作取 久

こんにちは、特別養護老人ホームたくまの里の作取です。熊本民医連の共同組織委員長を務めています。

たくまの里では地域に開かれた施設として、地域交流スペースを活用しての介護予防教室、認知症カフェ、各種サークル活動、保育園との交流、夏祭りなどの季節行事が行われ、日常的に地域住民との交流がありました。しかし、コロナウイルス感染症により状況が一変しました。感染対策から施設利用ができない状況が続いています。

このような状況の中、地域では多世代が集える場所作りとして社会福祉協議会を中心に地域食堂「たくにしぎすな食堂」の動きが始まり、たくまの里は実行委員として参加しています。

一方、たくまの里が活動を一緒に取り組んでいるたくま班では、コロナ以前は食事会やコーラスサークルに多くの地域住民が参加して交流し、会員がボランティアとして施設で毎週開催するふれあい喫茶や歌声の講師として活躍していました。しかし、感染症の終息が見えない中、会員同士のつながりを切らさないことを目的に会報誌「たくま班通信」を作成して会員に配布しています。現在までに3回発行して好評です。内容は近況報告や趣味のこと、地域での取り組み、闘病記など多種であらためて会員さんのことを知る機会となっています。

コロナ禍により他者との交流減少、体力の低下などから介護保険の必要性が増していると考え、たくまの里では友の会会員向けに介護保険相談会を行っています。介護保険の申請法やサービス利用などについて班会でお話をさせていただきます。ご要望の班は、くまもと健康友の会事務局までお問い合わせください。また、個別のご相談もたくまの里で受け付けますのでご連絡ください。

■連絡先/居宅支援事業所たくまの里(工藤)096-382-3187